

コロンビアの最新動向(9月16日～9月30日)

I. 政治・経済

1. 2007年第2四半期のGDP成長率は6.87%

- 9月21日、政府発表によると、2007年第2四半期のGDP成長率は6.87%となった。金融サービス部門(15.7%)、製造部門(12.1%)、運輸部門(12.1%)、商業サービス部門(10.8%)が経済を牽引した。
- この結果、2007年上半期のGDP成長率は7.48%となった。セクター別内訳は建設部門(16%)、製造部門(13.3%)、商業サービス部門(11.2%)。

II. 外交

1. EUとアンデス共同体(CAN)、連携協定へ向け交渉開始

- 9月17日から21日にかけて、EU27カ国とCAN4カ国(コロンビア、エクアドル、ペルー、ボリビア)との連携協定を目指す初めての交渉が、ボゴタで行われた。CAN諸国は11月15日に関税率の引き下げ幅を決定する予定。
- 今後は12月上旬に第2ラウンド(於ベルギー)、2008年3月に第3ラウンド(於リマ)を予定している。
- EUはコロンビアにとって米国に続く重要な輸出相手先。コロンビアからEUへの2006年輸出額は44億ドルと、5年間でほぼ倍増している(2001年は24億ドル)。

III. 石油その他の資源セクター

1. カリブ鉱区公開入札でBP、Petrobrasらが権利獲得

- 9月18日、政府発表によると、新たに公開されたカリブ海沿岸の油田13鉱区のうち9鉱区が落札された。落札したのはEcopetrol、BP(英)、Petrobras(伯)、ONGC(印)、HESS(米)。
- 本件入札にはChevron(米)、帝国石油(日)、YPF(西)、BHP(豪)など11社が参加していた。
- カリブ海沿岸の油田開発は、コロンビアが今後5年間石油の自給を維持する為に、最も重要視しているプロジェクトのひとつ。

2. Ecopetrol の IPO は 33 億ドルと最大規模に

- 9月26日、Ecopetrol 発表によると、8月27日から9月25日にかけて行われた同社の第一回目の株式公開(10.1%)は、6.6兆ペソ(約33億ドル)を上回る規模となった。
- 当初の予測では、国内の需要は最高10億ドル程度と予想されていた。しかし、市民は保有している他の株式を売却するなどして資金を捻出、Ecopetrol の株を購入した模様。予想の3倍に相当する40万人が対応した。
- 第二回目の株式公開(9.9%)は11月19日からボゴタ証券取引所で行われ、海外投資家も参加可能となる。更に2008年8月には、米国での株式公開を目指している。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。